

様式記載例 別紙1

水質汚濁防止法・下水道法共通

別紙1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	門型洗車機		
特定施設号番号及び名称	No71自動式車両洗浄施設		
型 式	(株)△△製作所 (AAA-BB-001)		
構 造	別紙参照		
主 要 尺 法	3500×3000×3000		
能 力	50L/台		
配 置	別紙参照		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○○○○年○月○日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	○○○○年○月○日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	○○○○年○月○日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項			

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
 2 水質汚濁防止法に基づく届出において、その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。
 3 下水道法に基づく届出において、特定施設の種類とは水質汚濁防止法施行令(昭和四十六年政令第百八十八号)別表第一及びダイオキシン類特別措置法施行令(平成十一年政令第四百三十三号)別表第二に掲げる号番号及び施設の名称を記載すること。

【記入の際の注意点】

車両の洗浄や整備場の床洗浄を行う事業場が特定施設(No.71)を設置する場合や含油排水を処理する油水分離槽を設置する場合の共通様式(様式第1号)の記載例をご案内します。

設置される主な特定施設の例は、下表のとおりです。

番号	特定施設の名称	該当する施設の例
No.71	自動式車両洗浄施設	門型洗車機／下部洗浄機
No.70 の 2	自動車特定整備事業の用に供する上記以外の洗車施設 (屋内作業場の総面積が 800m ² 以上の場合に限る。)	高圧洗車機／スチーム洗車機／手洗い洗車施設
No.65	酸又はアルカリによる表面処理施設 (洗浄に用いる薬液の pH が 5.8 未満であるか 8.6 を超えるもの)	部品洗浄機／マット洗車機

別紙 1

«特定施設の構造»

- ◆ 各欄に必要事項を記入してください。
- ◆ 「能力」には、機器のカタログから 1 台当たりの洗車水量や単位時間当たりの吐出能力等を記入します。
- ◆ 「設置年月日」には、特定施設使用届出書の場合や既設の特定施設を届出する場合に記入してください。
- ◆ 「工事着手予定年月日」には、施設が機械・器具の場合は据付工事の着工予定日を、建築物の場合は基礎工事の着工予定日を記入してください。なお、特定施設設置届出書、特定施設の構造等変更届出書の届出期限は、工事着工予定日の 60 日前までです。
- ◆ 施設の更新や施設の改造などの届出において、変更前・変更後の区別が必要な場合は、右上に「変更前」、「変更後」と記載し、それぞれ添付してください。

様式記載例 別紙2

水質汚濁防止法・下水道法共通

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	門型洗車機	関連施設 高圧洗車機	関連施設 手洗い洗車	関連施設 床洗浄					
特定施設号番号及び名称	No71自動式車両洗浄施設	-	-	-					
設置場所	別紙参照	別紙参照	別紙参照	別紙参照					
操業の系統	別紙参照	別紙参照	別紙参照	別紙参照					
使用時間間隔	8:30~18:30	8:30~18:30	8:30~18:30	8:30~18:30					
1日当たりの使用時間	8時間	8時間	8時間	1時間(1回/日)					
使用の季節的変動	なし	なし	なし	なし					
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	△△シャンプー(pH7~8)	-	-	-					
当該特定施設から排出される汚水等の汚染状態／汚水の水質	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	鉱油	10	10	10	10	10	10	10	10
汚水等／当該特定施設から排出される汚水の量(m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	1.5	1.7	0.4	0.5	0.2	0.3	0.1	0.2	
その他参考となるべき事項	時間最大排水量 50L/台×5台/時=0.25m ³ /時 油水分離槽2～	時間最大排水量 100L/台×4台/時=0.2m ³ /時 油水分離槽1～	時間最大排水量 50L/台×2台/時=0.1m ³ /時 油水分離槽1～	時間最大排水量 0.2m ³ /h 油水分離槽1～					

備考 汚水等の汚染状態／当該特定施設から排出される汚水の水質の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項／当該特定事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項について記載すること。

別紙2

«特定施設の使用の方法»

- ◆ 「設置場所」、「操業の系統」は、別紙平面図、作業フロー図を添付して別紙参照としてください。
- ◆ 「使用時間間隔」には、特定施設を使用する時間を記入してください。
- ◆ 「原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量」には、特定施設で使用する薬品等を記入してください。
- ◆ 「汚水等の汚染状態／当該特定施設から排出される汚水の水質」には、車両洗浄水に含まれる鉱油の濃度を記入します。特定施設から排出される可能性のある規制項目を記載してください。その際、汚水を全量回収する等により公共下水道又は流域下水道に排除されない規制項目については「(pH)」のようにかっこを付して表現してください。
- ◆ 「その他参考となるべき事項」には、施設から排出される1時間当たりの排水量(時間最大排水量)と排出された排水がどの処理施設に流入するか記載してください。
- ◆ 枠内に記載しきれない場合は、別紙参照としても構いません。
- ◆ 特定施設以外で規制項目を含む排水を排出する施設も関連施設として記入してください。
- ◆ 施設の更新や施設の改造などの届出において、変更前・変更後の区別が必要な場合は、右上に「変更前」、「変更後」と記載し、それぞれ添付してください。

様式記載例 別紙3

水質汚濁防止法・下水道法共通

別紙3

汚水等の処理の方法／汚水の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	油水分離槽1		油水分離槽2					
処理施設の設置場所	別紙参照		別紙参照					
設置年月日	年月日		年月日					
工事着手予定年月日	○○○○年○月○日		○○○○年○月○日					
工事完成予定年月日	○○○○年○月○日		○○○○年○月○日					
使用開始予定年月日	○○○○年○月○日		○○○○年○月○日					
種類及び型式	油水分離槽		油水分離槽					
構造	別紙参照		別紙参照					
主要寸法	別紙参照		別紙参照					
能力	有効容量2.0m ³ (別紙参照)		有効容量2.0m ³ (別紙参照)					
処理の方式	浮上分離		浮上分離					
処理の系統	別紙参照		別紙参照					
集水及び導水の方法	別紙参照		別紙参照					
使用時間間隔	8:30～18:30		8:30～18:30					
1日当たりの使用時間	8時間		8時間					
使用的季節変動	無し		無し					
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	吸着マット		吸着マット					
汚水等の汚水染質状況及び量	種類・項目	通常	最大	通常	最大			
	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後		
鉱油	10	5以下	10	5以下	10	5以下		
	量(m ³ /日)	0.7	0.7	1.0	1.0	1.5	1.5	1.7
残さの種類、1ヶ月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥(1m ³ /月、産廃処理)		汚泥(1m ³ /月、産廃処理)					
排出水の排出方法／汚水を公共下水道又は流域下水道へ排除する方法	排出口1から公共下水道へ排出		排出口1から公共下水道へ排出					
その他参考となるべき事項	時間最大流入量0.5m ³ /時、滞留時間4時間		時間最大流入量0.25m ³ /h、滞留時間8時間					

備考 1 汚水等の汚染状態／汚水の水質の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項／当該特定事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法／汚水を公共下水道又は流域下水道へ排除する方法の欄には、排水口／排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙3

«汚水等の処理の方法／汚水の処理の方法»

- ◆ 「設置年月日」には、既設の油水分離槽を届出する場合等に記入してください。
- ◆ 「工事着手予定年月日」には、油水分離槽設置の着工予定日を記入してください。「工事完成予定年月日」には、油水分離槽設置の完了予定日を記入してください。「使用開始予定年月日」は、油水分離槽設置工事が完了し施設等から汚水を排出する予定日を記入してください。
- ◆ 「能力」には、油水分離槽の第1槽から第4層までの合計要領(有効容量)を記入してください。
- ◆ 「処理の方式」には、油水分離槽の処理内容(浮上分離、吸着など)を記入してください。
- ◆ 「使用時間間隔」には、油水分離槽を稼働させる時間を記入してください。
- ◆ 「1日当たりの使用時間」には、処理水量等から想定される油水分離槽の稼働時間を記入してください。
- ◆ 「汚水等の汚染状態及び量／汚水の水質及び量」には、油水分離槽に流入する可能性のある規制項目を記入してください。
- ◆ 「排出水の排出方法／汚水を公共下水道又は流域下水道へ排除する方法」には、別紙4の「工場又は事業場における施設番号／公共下水道への排出口」に記入した、いずれの排出口から排除されるかわかるように記入してください。
- ◆ 「その他参考となるべき事項」には、油水分離槽に流入する時間最大排水量と、その滞留時間が分かるように記載してください。滞留時間は、(有効容量)÷(時間最大排水量)で求めます。滞留時間が2時間未満の場合は、時間最大排水量を見直すか、具体的な維持管理の方法(清掃や吸着剤の交換の頻度等)を示す資料を添付してください。

例)油水分離槽1の時間最大排水量は、

高压洗車機 0.2+手洗い洗車機 0.1+床洗浄 0.2=0.5m³/時

- ◆ 枠内に記載しきれない場合は、別紙参照としても構いません。
- ◆ 施設の更新や施設の改造などの届出において、変更前・変更後の区別が必要な場合は、右上に「変更前」、「変更後」と記載し、それぞれ添付してください。
- ◆ 給油施設のため、床面雨水の排水経路上にある油水分離槽と同構造の貯留設備は、記入する必要ありません。

洗車場や給油場の床面雨水については、横浜市排水設備要覧において、以下のように定められています。

- 業務用露天洗車場の床面の雨水排水は除害施設(※油水分離槽)を経由して汚水扱いとします。
- 給油施設の露天部床面に降った雨水排水は雨水扱いとし、貯留設備(油水分離槽と同構造)を経由して公共用水域(雨水管)へ排出してください。

様式記載例 別紙4

水質汚濁防止法・下水道法共通

別紙4

排出水の汚染状態及び量

／公共下水道又は流域下水道に排除される下水の量及び水質

工場又は事業場における施設番号／公共下水道への排出口		排出口1		排出口2(雨水)			
種類・項目 ／ 下水の汚染状態	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	鉛油	5以下	5以下				
排出水／下水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大	通常	最大
4.2		5.2	0	0			
その他参考となるべき事項							

備考 排出水の汚染状態／下水の水質の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項／当該特定事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項について記載すること。

別紙4

«排出水の汚染状態及び量／公共下水道又は流域下水道に排除される下水の量及び水質»

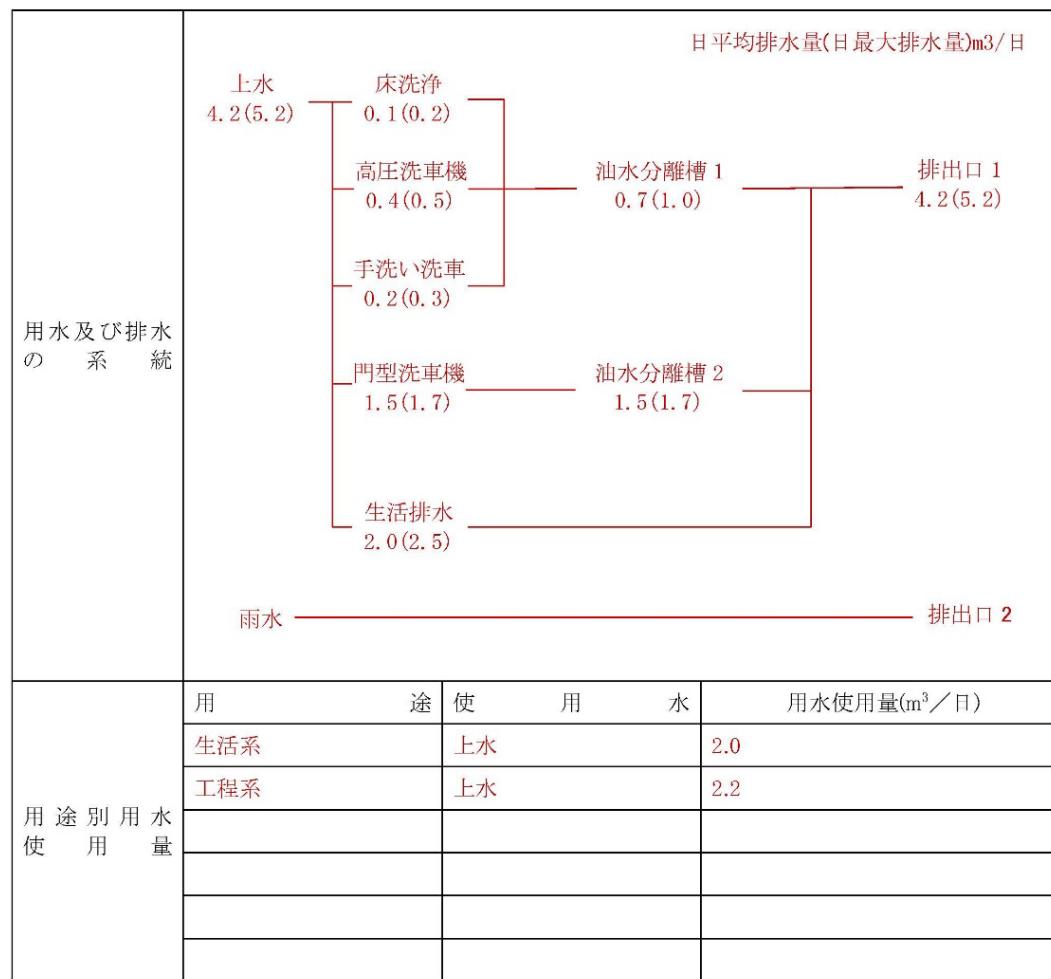
- ◆ 「工場又は事業場における施設番号／公共下水道への排出口」は、排出口ごとに番号を割り振り、その番号を記入してください。
- ◆ 「排出水の汚染状態／下水の水質」は、排出口から排出される可能性のある規制項目を記入してください。
- ◆ 「その他参考となるべき事項」には、必要に応じて必要事項を記入してください。
- ◆ 枠内に記載しきれない場合は、別紙参照としても構いません。

様式記載例 別紙6

水質汚濁防止法・下水道法共通

別紙6

用水及び排水の系統



用途別用水 使 用 量	用	途	使 用 水	用水使用量(m ³ /日)	
	生	活	系	上水	2.0
	工	程	系	上水	2.2

別紙6

«用水及び排水の系統»

- 「用水及び排水の系統」は、給水量と汚水の発生量、排水処理施設の処理量、公共下水道への排水量の関係を図で示してください。排出口が複数ある場合は、それぞれの排出される汚水の種類が分かるように記載してください。雨水についても記載してください。
- 「用途別用水使用量」は、用途別の使用水種類とその使用量を記入してください。
- 枠内に記載しきれない場合は、別紙参照としても構いません。

参考資料記載例

水質汚濁防止法・下水道法共通

参考

1 届出理由

(特定施設設置届出書の場合の記入例)

事業場の新設

特定施設 No.71 を 1 台設置します。

特定施設から排出する汚水の処理施設（油水分離槽）を設置します。

(特定施設の構造等変更届出書の場合の記入例)

特定施設 No.71 における使用洗剤を変更します（〇年〇月〇日）。

2 事業場概要

従業員数	5人	業種（細分類）	ガソリンスタンド
主要製品	一	操業時間	8時～18時
企業規模	大企業	中小企業	零細企業
敷地面積	200m ²	下水排除方式	合流
担当部署	○○○店	担当者	横浜 太郎
電話番号	045-671-XXXX	メールアドレス	XXX@city.yokohama.lg.jp

3 工事実施制限期間の短縮の通知（期間短縮通知書）等について、希望する交付方法を選択してください。なお、電子申請の場合は、電子申請のシステム画面にて選択をお願いします。

届出に係る法令・条項、届出の時期によっては、交付される通知がない場合があります。

電子交付（交付先は次のとおり）

届出の提出方法	期間短縮通知書等の交付先
書面（郵送・来庁）	2 事業場概要欄中のメールアドレス
横浜市電子申請・届出システム	同システム上でアップロード

書面交付

添付書類一覧

水	下	添付書類の名称	作成上の注意
✓	特定施設の構造図	縮尺・寸法を記入してください。 (別紙1の構造・主要寸法に該当)	
✓	特定施設のその他参考となる図面 (カタログ、床面材質の資料等)	(別紙1の能力に該当)	
✓	特定施設に関連する主要機械又は主要装置の配置図	(別紙1の配置に該当)	
✓	特定施設の設置場所（土木図面等）	床面の構造及び状況を詳細に記入してください。 (別紙2の設置場所に該当)	
✓	操業の系統図（フローシート）	(別紙2の操業の系統に該当)	
✓	汚水の処理施設の設置場所	(別紙3の処理施設の設置場所に該当)	
✓	汚水の処理施設の構造図	縮尺・寸法を記入してください。 (別紙3の構造・主要寸法に該当)	
✓	汚水の処理系統図	(別紙3の処理の系統に該当)	
✓	汚水の処理施設のその他参考となる図面 (カタログ等)	(別紙3の処理施設の能力に該当)	
✓	汚水の処理施設の設計計算書及び装置、機械の仕様書並びに取扱説明書	設計根拠とした原水及び処理水の水質、水量及び処理方法の選定理由、安全率、最大処理能力並びに装置、機械の仕様を記入してください。 (別紙3の処理施設の能力・処理の方式に該当)	
✓	用水、排水の系統図	給排水は、色分けしてください。 (別紙6の用水及び排水の系統に該当)	
✓	水バランスシート	(別紙6の用水及び排水の系統に該当)	
✓	事業場への案内図	—	
✓	敷地内の建物及び構造物の配置図並びに公共下水道への接続図	—	
✓	特定施設一覧表	特定施設の名称・型式・設置場所・処理系統、特定施設の種類ごとの台数などが把握できるようにしてください。	
✗	有害物質の使用に関する管理要領	(別紙2及び14のその他参考となるべき事項に該当)	
✗	有害物質使用特定施設等の点検記録簿	(別紙2及び14のその他参考となるべき事項に該当)	
✗	有害物質使用特定施設等に係る設備の配置図	(別紙1の2及び13の配置に該当)	
✗	貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統図（有害物質貯蔵指定施設に限る。）	(別紙15の搬入及び搬出の系統に該当)	

注1 変更届出の場合は、図面上に変更箇所を明示してください。

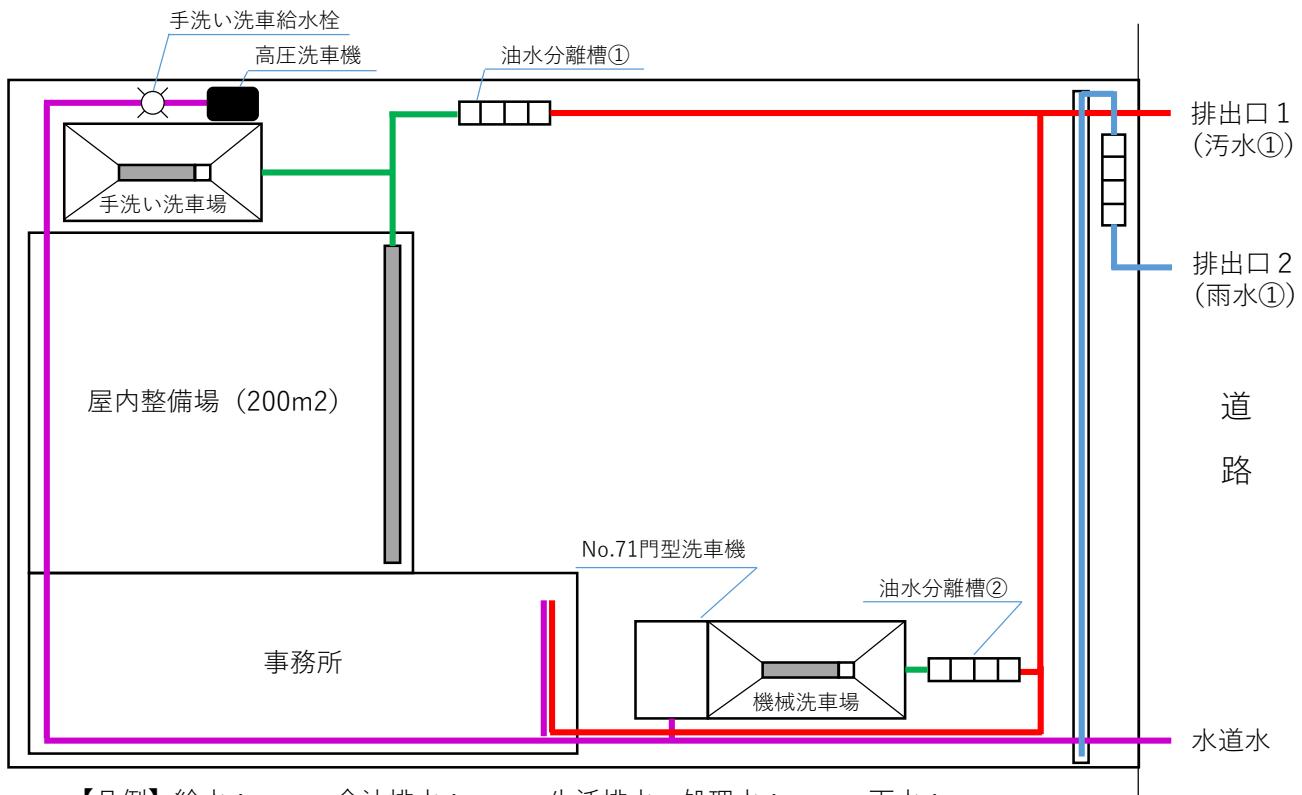
注2 何枚かの図面をまとめられる場合は、まとめてください。

注3 図面は原則、A4版又はA3版とし、A3版の図面はA4版に折って提出してください。

参考資料

- 「届出理由」は、以下の内容に関連して具体的な届出内容が分かるよう記入してください。特定施設、汚水の処理施設の設置を除く届出の場合は変更日を併記してください。
 - 特定施設および汚水の処理施設の新規設置、構造の変更、使用方法の変更、廃止がある場合
 - 下水の量や水質に変更がある場合（使用薬品や排水量の変更等）
 - 用水、排水の系統が変わる場合など
- 「業種」は、日本標準産業分類の細分類を記入してください。
- 添付書類一覧には、添付したものに「✓」などを記入してどの資料を添付したか分かるようにしてください。
- 「電子交付」、「書面交付」は、特定施設設置届出書、特定施設の構造等変更届出書を書面により提出する場合に、希望する通知受取方法を選択してください。

例 敷地内の建物及び構造物の配置図、排水の系統図並びに公共下水道への接続図



例 汚水の処理施設の構造図

